

地域の子は地域ですこやかに育てよう



青少年つるが

青少年健全育成敦賀市民会議 第14号

青少年健全育成敦賀市民会議

平成21年10月25日(日)

創立30周年記念式典



◆つるが陽楽会
少年少女合唱団による敦賀市歌の合唱



◆堂田展江氏・恵氏による
オープニングステージ

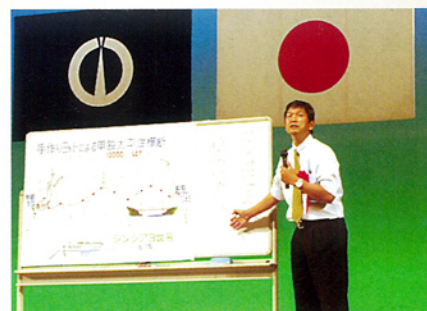


◆井手恵美子副会長のナビゲートで
三〇年を振り返って



◆籠正義会長のあいさつ

★ 44の方々に参加していただきました ★



◆岡村精二氏による講演

青少年健全育成敦賀市民会議 創立30周年記念式典

平成21年10月25日(日) プラザ萬象大ホール 午前9:30~12:00



オープニング

私達、「青少年健全育成敦賀市民会議」は、次代の担い手である子どもたちが、いきいきとゆっくり生活できる地域社会をつくるため子どもたちを温かく見守り、「地域の子は地域ですこやかに育てよう」という気運を盛り上げ、連帯感と教育力を高めるため努力することをお約束します。

そのためには、地域の住民同士、顔の見える関係づくりからはじめ、子どもたちの心の居場所となるような地域づくりや、社会に出るための準備学習を支援し、安心して住める街をつくることに務めるなど、私達、大人が姿勢を正していくよう努力いたします。

「地域の子は 地域ですこやかに 育てよう」

大会スローガン



- 合唱
 - 独唱
 - ピアノデュオ (連弾)
- 《時の流れをせきとめないで》
〜黒河川ソング〜
《つるが北浪漫》
《ラプソディー・イン・ブルー》



講演

親子のきずな

〜太平洋単独横断から学んだもの〜

講師 岡村精二氏

10月25日(日) プラザ萬象 大ホールにおいて青少年健全育成敦賀市民会議創立30周年記念式典が開催されました。河瀬一治敦賀市長をはじめ多数のご来賓をお迎えし、多くの来場者のもと盛大に開催されました。

オープニングステージに続き、30年の歴史を映像で振り返り、記念式典を挙行することができました。式典後の岡村精二氏による講演『親子のきずな〜太平洋単独横断から学んだもの〜』では、岡村氏の語りに涙する聴衆も多く見られました。

講師プロフィール

- S 28年 山口県宇部市にて出生。
- S 49年 「太平洋ひとりぼっち」の筆者堀江謙一氏の「手作りヨット」による単独太平洋横断」の著書に触発されて、3年間で航海士の免許を取得。
- S 52年 5月宇部港を出港、5ヶ月弱の日時を要し10月にアメリカ・サンフランシスコ港に着港、自分で設計し手作りしたヨットで単独太平洋横断に成功。
- H 11年 宇部市議会議員を経て、現在、山口県議会議員二期目。
- H 14年 山口大学院修士課程修了・博士課程入学。
- H 16年 若者の居場所づくりと夢の実現をサポートするため「YMO21」を設立。
- H 17年 高校中退の子供たちを支援するため通信制高校サポート校「博多自由学園」を開校。
- H 18年 通信制高校サポート「山口UK学院」を開校。
- H 21年 広域通信制・単位制「精華学園 高等学校」開校。

青少年健全育成敦賀市民会議30年間のあゆみ



誕生から今日まで

戦後、青少年非行の第3ピークと言われて世界中が憂っていました。行政のみならず市民の積極的な関心と行動が求められている時代でした。

- 昭和41年5月 青少年育成国民会議 設立
- 昭和52年3月 敦賀市青少年健全育成都市宣言
- 昭和54年5月 国際児童年による記念植樹
- 7月 環境浄化パレード開催
- 8月 青少年健全育成敦賀市民会議結成準備会設立：旧・勤労福祉会館
- 9月 青少年健全育成敦賀市民会議結成総会：敦賀市文化会館
- 12月 顧問 高木孝二(当時市長)・初代会長 梅木参次郎氏・会員：70団体・個人：11人
- 昭和55年7月 青少年非行防止決起大会
- 10月 あいさつ運動標語募集
- 昭和56年7月 青少年健全育成環境浄化パレード等の活動
- 昭和57年12月 青少年育成国民会議会長表彰受賞(岸本副会長 福井)
- 昭和58年3月 市民会議シンボルマーク決定
- 5月 第1回「親子のフェスティバル」 会場「松原運動場と松原公園」
- 昭和59年 「作文・標語・ポスター募集」審査会、表彰
- 平成元年6月 第11回定期総会：第2代会長 川上正志氏 就任
- 平成2年3月 「作文・標語・ポスター募集」から
- 平成2年3月 「青少年からのメッセージ」青少年へのメッセージへと名称変更
- 7月 「環境浄化パレード」から「青少年育成敦賀市民大会」に名称変更
- 平成6年3月 第16回定期総会に於いて「会長表彰制度」創設
- 平成7年7月 第17回「青少年育成市民大会」・「青少年育成県民大会」合同で開催
- 平成9年3月 第19回定期総会：第3代会長 加藤和夫氏 就任
- 7月 第1回青少年塾「ひまわり塾」開設：講義(江戸時代の町並み)
- 平成10年11月 平成10年度青少年健全育成功労者等総務長官賞受賞(加藤会長 上京)
- 平成13年12月 「地域のおじさん、おばさん運動」モデル事業
- 平成15年3月 第25回定期総会：第4代会長 籠正義氏 就任
- 平成16年3月 広報紙「青少年つるが」創刊号 発行(市内全戸配布)
- 5月 「親子のフェスティバル」 会場「きらめきみなと館と金ヶ崎緑地」へ移動
- 平成17年4月 賛助会員募集の拡大
- 平成21年10月 青少年健全育成敦賀市民会議創立30周年記念式典

・5つの部の内容充実(青少年部・育成部・環境浄化部・推進員部・広報部)



第1回 親子のフェスティバル 1983.5.3

青少年健全育成 市民会議結成総会 1979.9.29

国際児童年による 記念植樹 1979.5.14

青少年をめぐる環境浄化デー 1977.7.17

※市民会議21年度会員数 74団体 37個人

※市民会議事務所の変遷 「少年愛護センターと共に」

①S54年(敦賀市文化会館)

②H5年(敦賀市教育委員会文化課分室)

③H11年(敦賀市南公民館)

④H15年(敦賀市生涯学習センター1・2階)



敦賀っ子は、敦賀市民の誇りであり、宝です。 私たち大人は、子どもたちに 範を示します。



9月19日(土)

中池見湿地で生き物探し
ちくわづくりと



●今日は、ちくわ作りと、中池見湿地で、生き物を探しました。ちくわ作りでは、まく時に、切れ目が入ってしまっただけ、水を付けて直せました。そして、生き物探しでは、ドンコを2ひきも見つけて、ザリガニもつかまえました。ドンコは、少しザラザラしていたので、びっくりして、手をひっこめてしまいました。
今日、初めて「ちくわ」が作れたのがよかったし、大物をつかまえたのがよかったと思います。またやりたいです。

●ちくわ作りは、したことがあるけど、家に帰って食べるのがたのしみになりました。かまぼこを作るところをみれて楽しかったです。ちくわを作るとき竹にまくところがあずかしかったです。
中池見で「スジエビ」っていうの「タニシ」と「メダカ」と「フナ」がとれました。カエルもいました。あみでとりました。友だちができました。たのしかったです。



●今日は、小牧かまぼこと、中池見湿地で生き物さがしをしました。小牧では、まず、私たち1班は、ちくわ作りを体験しました。はじめてちくわづくりをしたけど、じょうずにできました。
次は、工場見学をしました。見ている働いている人は、とてもがんばって働いていました。中池見では、1班は、まず、いろいろなところを見学しました。メダカやいろいろな生き物がたくさんいてびっくりしました。
2人新しい友達ができたととてもうれしかったです。またこういう体験をしたいです。



●ちくわ作りで、最後の仕上げの形をととのえるのが、きれいにととのえられました。中池見で、エビ、メダカ、ザリガニ、小さいメダカ、カニ、大きすぎる魚をつかまえました。中池見で生き物をつかまえられる、楽しかったです。中池見に、また来たいです。

●ほくはちくわづくりも中池見の生き物探しもしたことはあるけれど、今回は学校や参加したイベントでやったよりもおもしろかったです。またこのイベントがあったらぜひ参加したいです。友達もできたり、本当によかったです。

◆小4	11名
(男5名 女6名)	
◆小5	15名
(男6名 女9名)	
◆小6	11名
(男4名 女7名)	
合計	37名参加
会長および推進員	13名



10月17日(土)

昆布加工体験



●今日、生まれて初めてこんぶすきました。
こんぶづくりは、すごか力がある作業でとても大変でした。こんぶの種類が分かって良かったです。おほろ昆布をいつも買っていて、どうやって作ってあるのが分かりました。そしておほろ昆布を作っているのは、すごか大変なんだなあーと思いました。
こんぶを作る時に教えてくださる方がいっしょに作ってくれて良かったです。

●今日、心に残ったことは三つあります。
一つ目は、昆布は北海道や青森など、寒い地域だけしかとれないということです。今は、地球温暖化が進んでいるので、最近では、昆布がくさってしまうことも分かりました。このおいしい昆布を食べるため、教員の文化を守るためにも、一度工場について考えないといけなくと反省もできました。
二つ目は、おほろ昆布は、教員が生み出したということです。茶わんのかけらがきかけでこんぶにおいしいものが出来たなんて、おもしろいと思いました。また、この昆布を売ろうと考える人も、私にとって、とても感謝する人だなと思いました。
三つ目は、実際に昆布を加工したことです。職人さんがやっているのを見た時は、とても簡単に見えました。けれど、他の子のやっているのを見てみると、とても難しくそうに見えてきました。そしていざ自分がやってみると、とても力が入るし、手はいたくなるし、とても大変でした。その時は、加工する人はこんぶに大変な仕事をみんなのためにやっているということが分かりました。けれどやっていると、とても楽しいので、仕事の楽しさも分かりました。加工体験をしたおかげで、教員のこと、仕事のことがよく分かりました。
これから昆布を食べる時は、職人さんのことを思って大切に食べたいです。そして、このような大切な体験のきかくをしてくれたひまわり塾に感謝しています。



●今日は、こんぶのことをくわしく知れてよかったと思います。同じ北海道なのにとれるこんぶが1つ1つちがうというのにおどろきました。教員も、こんぶをうまく生かしていたのですごいと思いました。こんぶをするのは、力がとてもいるらくなくて、わたしは、あまり力がなかったで、うまい人はすごいなと思いました。するのには、時間がとてもかかったけど、自分で作れたのはとてもうれしかったです。またするときは、もっとうまく、早くしたいです。

◆小4	8名
(男6名 女2名)	
◆小5	15名
(男7名 女8名)	
◆小6	8名
(男1名 女7名)	
合計	31名参加
会長および推進員	13名



平成21年度 ひまわり塾をおえて…

今年度のひまわり塾は、4年生から6年生を対象とし、子どもたちの自立を目的として保護者の参加はご遠慮いただきましたが、子どもたちにとっては、楽しい思い出づくりになったと思います。
来年度も体験を中心に、楽しく何かを得てもらえるような企画を考え、たくさんの子どもの参加をお待ちしております。

平成21年度 青少年健全育成福井県民大会

私たち大人から変えよう!! “家族のふれあい”

平成21年11月22日(日) プラザ萬象大ホール
13:30~16:00



青少年育成福井県民会議
嶺南ブロック代表 籠 正義



福井県知事 西川一誠



開 会 式

表 彰 式

◆ 善行青少年および
青少年成功労者知事表彰受賞者

【善行青少年】

大和田 弥 夢

川 畑 巴都紀

白 木 昭 典

長谷川 功 子

川 畑 巴都紀

◆ 優良青少年補導員および
優良少年警察協助力知事感謝状受賞者

【優良少年警察協助力】

清 水 郁 雄

「少年の主張」の発表

「命という道」

越前市武生第一中学校3年

田 中 千 陽



「支え合って生きる」

越前市武生第二中学校2年

林 靖 子



大 会 宣 言

郷土の担い手となる青少年が、夢をもち、心豊かでたくましく成長することは、県民すべての願いであり、大人に課せられた責務であります。青少年を、はぐくむ豊かな社会をめざすためには、青少年自身による取り組みはもとより、私たち大人や親が、自らの姿勢を正すとともに、青少年を温かく見守っていくことが重要です。本大会に参加した私たちは、より一層「家族のふれあい」を深め、この活動を地域社会にひろめ、青少年の健全育成に取り組み、「夢をもち心豊かでたくましい青少年」を育てていくことを、ここに宣言します。

平成21年11月22日
青少年健全育成福井県民大会

11月22日(日) プラザ萬象 大ホールにおいて青少年健全育成福井県大会が開催されました。この教賀での開催は8年ぶりとなります。主催者として西川一誠福井県知事も来賓され、河瀬一治教賀市長をはじめ多くのご来賓にもご参加いただき、福井県内各地から約600人の参加者を迎えました。当会会長の籠正義による開会の辞で大会の幕を開け、各賞を受賞された皆さんの表彰式が行われ、少年の主張の発表、鯖江市婦人福祉協議会による助成事業の報告が行われました。その後、教賀短期大学地域総合科学科教授 龍谿乗峰氏による講演「社会のくぼみで生きる若者たち」にて、ひきこもりやニートの現状を勉強することができました。最後に大会宣言を採択し約2時間半の大会を終りました。

講 演

「社会のくぼみで生きる若者たち」

その背景となる家族と地域

講師 教賀短期大学 地域総合科学科教授 龍谿 乗峰 氏



講師プロフィール

福井県越前市に在住。
教賀短期大学 地域総合科学科教授・心理力ウンセラー・地域交流センター長他専門分野は、「家族臨床心理学・家族カウンセリング」など。

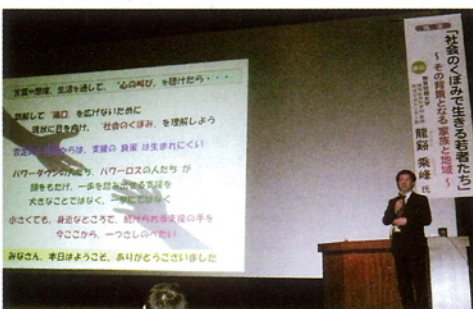
実践テーマ「教育支援と地域連携」

研究テーマ「臨床心理と表出言語」

- ◆ 日常は、主に青春期の子どもたちや家族のカウンセリングを受け入れている。
- ◆ 幼稚園や小学校など低年齢の子どものちを持つ親に対するカウンセリング
- ◆ 中学や高校の思春期の諸ケースを担当や養護教諭、学校力ウンセラーなどと連携・協力してのネットワーク・カウンセリング
- ◆ ひきこもりやニートの若者や家族への自立支援

最近の研究と発表に、

- 「コミュニケーションの呼称」
- 「支援と連携 エンパワメントのすすめ」
- 「支援と連携 不登校と教育支援」
- …等々がある。





おかげ様で30年

青少年健全育成敦賀市民会議

会長 籠 正義

「一日生きるとは、一歩進み 私達は、この精神をしっか
むことである。と歩ん 受継ぐとともに、激変し
できた市民会議も30年をむか 続ける社会の表層の動きに目
えました。 を奪われることなく、子ども
創立当初は少年非行の激増 達の本質的な変化に目を向け、
期にあり、国民的課題として 地道ながらも確かな歩みに徹
様々な議論や対策が講じられ した運動を進めていくことを
ていました。しかし、都市人口 決意しています。

の急増と農山村の過疎化とい 子ども達とともに歩む市民
う状況の中では、良薬が見つ 会議として、より多くの市民
からないまま、問題行動は急 の方々のご参加とご支援をお
テンポで増え続けていました。 願ひ申し上げ、新たなスタ
この状況に危機感を持った トを切ることいたします。

先輩諸氏は、「敦賀の子は敦賀
で守り育てる」という強い意
志を持って昭和54年に当会を
立ち上げました。



◆賛助会費のご報告◆

当市民会議の趣旨にご賛同いただき、
誠にありがとうございます。

賛助金の21年度の募集結果は
左記の通りです。

- ☆賛助会員数・・・14,103名
- ☆賛助金額・・・2,176,358円

(11月末現在)

賛助会費は敦
賀の明日を担う
青少年の活動の
ために充てさせ
ていただきます。
これからも青少
年の健全育成に
邁進していく所
存でございます。
何卒よろしく
お願い致します。



青少年からのメッセージ 青少年へのメッセージ

募集します!!

青少年健全育成敦賀市民会議では、
青少年に関する作文と
ポスターを募集します

●応募資格

市内にお住まい、または、通勤、通学されている
小学生以上の方

●応募期間

平成21年12月8日(火)～平成22年1月19日(火)

●作文

【内容】

- 家庭・学校・地域などで日頃考えていることや言
いたいこと
- 子どもがこれについて考えていること
- 自分の将来の夢や希望
- 私の訴えたいこと
- 職場や団体での青少年健全育成の活動体験など

【作品規定】400字詰め原稿用紙(縦書き)で

- ★小学生1～3年生は2枚程度
- ★4～6年生は2枚以上3枚以内
- ★中学生・高校生は4枚以上5枚以内
- ★一般は枚数制限なし
- *応募票を原稿用紙1枚目の
右上部に貼付してください。



●ポスター

【内容】

- 明るく楽しい家庭
- 明るく楽しい学校生活
- 住みよいまちづくり
- 子ども会・サークル活動 など
- 【作品規定】
- ★小学生は四ツ切りまたは八ツ切り
(1・2年生は図画でも可)
- ★中学生・高校生は四ツ切り
- ★一般は四ツ切り
- *応募票を作品の裏面右上部に
貼付してください。



●お問い合わせ・申込先

青少年健全育成敦賀市民会議事務局
(少年愛護センター内)

TEL 23-0189

青少年健全育成敦賀市民会議加入団体紹介コーナー

敦賀商工会議所青年部(YEG)

会長 小堀 真嗣

敦賀商工会議所青年部(YEG)とは、英語のYoung Entrepreneur Group(若き企業家集団)の頭文字をとったもので、同時に青年部の持つコンセプト(熱い情熱、広い視野)を持った経営者Youth Energy Generator listを表しています。

私達の活動の目的は、自己研鑽と、地域社会発展の先導者となる事です。

研鑽と交流を通じて、企業家精神をより一層高め、大きく成長していく事。そして、次代への先導者としての責任を自覚し、地域社会発展の支えとなり、新しい文化的創造をもって、豊かで住みよい郷土づくりに貢献する為に、日々事業活動をしています。

今年度、敦賀商工会議所青年部は、創立三〇周年を迎え、去る11月14日(土)に、記念大会を開催しました。170名の皆様にお集まり頂き、沢山の激励のお言葉を頂きました。昭和54年6月に創立され、大きな夢と情熱を持って、地域社会発展の為、活発に事業展開を行ってこられた諸先輩方のご尽力と、商工会議所親会を始め、関係各位のお力添えと、地域の皆様のご理解があったからこそ、30年の継続が可能となり、現在私達現役メンバー60名が、自己研

鑽や、地域社会発展の為の活動に、全力で取り組む事ができるのだと、心より深く感謝しています。

現在、当会では、中心市街地活性化事業としての「氣比神宮の杜フェスタ」や、少子高齢化事業の一環として、「キッズマーケット」や、「スマイルカード」の普及に取り組んでいます。

また、青少年の健全な育成を図る事業の一貫としては、今年度8・9月に、小学生を対象とした「働く事の大切さ」をテーマにした事業を、開催致しました。

目的は、(8月例会)商品開発から(9月例会)敦賀祭り協賛事業、販売までを子供達に体験してもらい、働く事の大変さ・厳しさ、そして、大きな喜びを肌で感じてもらい、両親が一生懸命働いた対価として、得られるお金のありがたみ、地域社会を支える仕事の大切さを子供達に少しでも解ってもらう事です。

また、この事業を通して、物を大切にすることを育成し、敦賀祭開催時期に、商店街で販売する事により、『祭』という伝統・歴史文化の素晴らしさ、『商店街』という地域独自のコミュニティの大切さなどを、心で感じるきっかけ作りになれば良いと考えています。

リピーネットへの登録を!!



リピーネットは

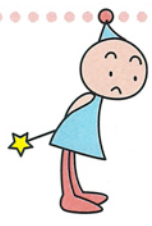
地域安全情報を提供する
メール配信システムです。

地域における自主防犯活動等に役立つ身近な安全情報を、メールでリアルタイムに発信。
子どもに対する声かけ事案や犯罪情報等、子どもさんの被害防止や各種犯罪の被害にあわなないための情報等をメールで提供しています。

お問い合わせ
敦賀警察署
生活安全課
TEL(0770)2510110
(内線 262・264)



林 恵子の きらきらcoramu



★★★★★★★★★ Vol.5

夢を持ってない 子どもたち



福井は、子どもが夢を持ってない県No.1なのだそう。なんて悲しいのでしょ。「挑戦する気持ちのある若者が少なくなってきた。このまま希望通りの企業に就職したとしても、彼らは期待通りに働くことができない。」とも言われています。何故でしょう...子ども達は今、目の前の障害

『青少年つるが』第14号
平成21年12月8日
編集・発行 青少年健全育成敦賀市民会議
事務局 少年愛護センター内
〒914-0047 敦賀市東洋町1の1
TEL 231-0189
FAX 231-0523
Eメール: tetsu_aigo@ton21.ne.jp
広報部



家族ふれあいデーです



第3日曜日は「家庭の日」

さあ 家族のふれあい はじめましょう!
「ふれあい家族」募集!

いろんな家族の取り組みにヒントとなる宣言など、キラキラと光る宣言には、青少年育成福井県民会議より各賞を設けご紹介させていただきます。

- 家族ではなしあいましょう!
- 家族とのふれあい時間をふやしましょう!

